

※ こちらの用紙は家賃を支払っている大家または不動産屋に記入いただく

(様式2-2) (表面)

【記入例】

入居住宅に関する状況通知書

- 1 下記の者に対し、賃貸している住宅に関する概要等について通知します。
- 2 暴力団員等と関係を有しないことの確認事項について相違ありません。
また、必要に応じて暴力団員等と関係を有しないことの確認につき、自治体が官公署から情報を求めることを同意します。

品川区長 あて

〇〇年〇〇月〇〇日

不動産媒介業者等

(商号または名称) 〇△プロパティ株式会社

(代表者名) フリガナ 大井 一郎 印

(所在地) 〒000-0000 品川区大井0-0-0

(担当者等) 氏名 _____ 所属 _____

電話番号 03-0000-0000

※貸主が記入する場合は、氏名、所在地、電話番号のみを記載してください。

社判を
押印して
ください

(暴力団員等と関係を有しないことの確認事項)

生活困窮者自立支援制度に係る自治体事務マニュアル第7の14(3)I.①から⑨に該当する「暴力団員等(暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者)と関係を有する不動産媒介業者等」でないこと

入居者

フリガナ 氏名	<u>シガワ 太郎</u> <u>品川 太郎</u>
生年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
同居状況	単身・ <u>複数</u> (<u>2</u> 名)
入居開始年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日

入居している賃貸住宅

名称	<u>△□ハイツ 000号室</u>
所在地	<u>品川区広野 2-1-36</u>
家賃	<u>00,000</u> 円

- ※1 住居確保給付金の支給額は、当該自治体における住宅扶助に基づく額(限度額:単身世帯 53,700円、2人世帯 64,000円、3人以上世帯 69,800円)を上限とし、収入に応じた額とする。
- ※2 住居確保給付金の対象となる賃貸住宅の契約については、借地借家法により、保護の対象となる賃貸借契約および定期賃貸借契約に限る。
- ※3 共益費・管理費は住居確保給付金の対象にならないため、家賃には含めずに記載。

振込口座

住居確保給付金の振込先	貸主または貸主から委託を受けた事業者の振込口座	フリガナ	<u>〇△プロパティ(カヤチンカンリグチ)</u>
		口座名義	<u>〇△プロパティ株式会社 家賃管理口</u>
		金融機関名	<u>□□銀行</u>
		支店名	<u>△□支店</u>
		口座種別	<u>普通</u> ・当座
		口座番号	<u>1234567</u>

【記入例】

(様式2-2) (裏面)

(住居確保給付金支給申請者 本人記入欄)

入居している賃貸住宅は上記のとおりです。

私の個人情報、住居確保給付金の支給を行うために必要となる範囲内で、都道府県等、公共職業安定所、社会福祉協議会および自立相談支援機関の間で相互利用されることについて同意します。

住居確保給付金の支給は、原則として、貸主または貸主から委託を受けた事業者等の口座へ振り込まれることにより、私への支給となることについて同意します。

〇〇年 〇〇月 〇〇日

氏名 品川 太郎 印 押印して
ください
住所 品川区広町2-1-36 A口ハイム 000号室
電話番号 000-0000-0000

(注意事項)

住居確保給付金支給申請者は、賃貸住宅の賃貸借契約の写しを添付して、この通知書を品川区暮らし・しごと応援センターに提出してください。

(参考) 生活困窮者自立支援制度に係る自治体事務マニュアル (抄)

第7の14(3)I. 暴力団員等と関係を有する不動産媒介業者等の排除

暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者(以下「暴力団員等」という。)と関係を有する不動産媒介業者等であることが確認された場合は、当該不動産媒介業者等に対し、当該不動産媒介業者等が発行する「入居(予定)住宅に関する状況通知書(様式2-1)、(様式2-2)」を受理しない旨を書面により通知し、以後、「入居(予定)住宅に関する状況通知書(様式2-1)、(様式2-2)」を受理しないものとする。

なお、暴力団員等と関係を有する不動産媒介業者等とは次のいずれかに該当するものをいう。

- ① 法人の役員又は営業所若しくは事務所の業務を統括する者その他これに準ずる者(以下、「役員等」という。)のうちに暴力団員等に該当する者のいる不動産媒介業者等
- ② 個人で営業所又は事務所の業務を統括する者その他これに準ずる使用人のうちに暴力団員等に該当する者のいる不動産媒介業者等
- ③ 暴力団員等をその業務に従事させ、又はその補助者として使用するおそれのある不動産媒介業者等
- ④ 暴力団員等がその事業活動を支配する不動産媒介業者等
- ⑤ 暴力団員等が経営に実質的に関与している不動産媒介業者等
- ⑥ 役員等が自己若しくは第三者の不正の利益を図り又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団の威力又は暴力団員等を利用するなどしている不動産媒介業者等
- ⑦ 役員等が暴力団又は暴力団員等に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している不動産媒介業者等
- ⑧ 役員等又は経営に実質的に関与している者が暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している不動産媒介業者等
- ⑨ 暴力団員等である個人、又は役員等が暴力団員等である法人を、その事実を知らず、不当に利用するなどしている不動産媒介業者等

[暴力団とは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成3年法律第77号)第2条第2号にあるとおり、「その団体の構成員(その団体の構成団体の構成員を含む。)が集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体」を指します。]